

▼カピステン筋注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ケトプロフェン (U) ketoprofen 【分類】 鎮痛・消炎・解熱剤

【単位】 ▼50mg/A

【常用量】 50mg/回 (1日1~2回)

【用法】 臀部筋注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【その他の報告】 50%以下に減量 (17)

【CRRT】 避ける (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【その他の報告】 GFR 10~50mL/min : 75%に減量, GFR 10mL/min 未満 : 50%に減量 (17)

【特徴】 術後, 外傷, 各種癌, 痛風発作, 症候性神経痛などの鎮痛・消炎と, 緊急に解熱を必要とする場合に使用.

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー様症状, SJS・TEN, 急性腎不全, 消化性潰瘍, 肝障害, 血液障害, 浮腫など

【tmax】 およそ 30 分 (1) 【Cmax】 50mg の単回筋注時 6.71 μ g/mL (1)

【代謝】 グルクロン酸抱合により代謝 (1)

【排泄】 資料なし (1) 投与後 12hr までの尿中回収率 61.4% (未変化体と代謝物の区別がなされていない) (1)

【CL】 AUC のデータから約 4.7L/hr (1) 76.3 \pm 3.4mL/min (1)

【t1/2】 0.6hr (1) 【ke】 1.180 \pm 0.029/hr (1)

【蛋白結合率】 69.0~84.3% (1)

【Vd】 3.9 \pm 0.2L/man (1)

【MW】 254.28

【透析性】 資料なし (1) 透析されにくいと思われる (5) が一部は透析される (U)

【相互作用】 シプロフロキサシン (禁忌) : けいれん, ニューキノロン (注意) : けいれん, メトトレキサート, リチウム製剤, ワルファリン, サイアザイド系利尿薬などとの併用注意

【備考】 メナミン筋注は販売中止.

【更新日】 20160109

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。